

NPO 法人ワンダーポケット2020年度事業報告（案）

【特定非営利活動に係る事業】

1. 病気の子どもたちが良質な医療を受けるための環境整備に関する事業

（事業費 92,578 円）

● 病院での出張イベントの企画・開催

(1) 『クリスマスイベント』の開催

開催日時：2020年12月23日（水）、24日（木）

開催場所：東北大学病院、仙台市立病院、国立病院機構仙台医療センター及び
仙台赤十字病院

対象者：入院中の0歳～小学生の子どもたち

対象者数：仙台市立病院 32名

東北大学病院 33名

仙台医療センター 20名

仙台赤十字病院 35名

（合計 120名）

概要：仙台市立病院と東北大学病院、国立病院機構仙台医療センターにおいては、各病院の医師やスタッフが子どもたちにプレゼントを配布して下さることとなり、当法人（以下「ワンダーポケット」という。）ではプレゼントを作製・ラッピングし、イベント当日に病院スタッフへお届けするところまでを担当した。

仙台赤十字病院においては、ワンダーポケットのスタッフでもある病院スタッフがサンタクロースやツリー、トナカイの扮装をし、NICUと小児科病棟へ入院中の子どもたちへプレゼントを手渡した。例年小児科病棟では、病棟主催のクリスマス会に合流し、プレゼント配布を担当していたが今年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策としてクリスマス会はなかったため子どもたちの病室を訪問し、ベッドサイドでプレゼントを手渡した。

配布したプレゼントはキャンディ・レイ（中身はビーズのアクセサリーやミニリース、折り紙製の独楽、マグネット、昆虫のフィギュア、風船など）、毛糸とフェルトで作った指人形、厚紙とフェルト製の写真立て、クリスマスカードなどで、その多くは例年同様ボランティアやスタッフの手で作られたものである。これらに加え、株式会社シーシー様よりご寄付いただいた歯ブラシや、寄付金で購入した文房具類もあわせてラッピングし、子どもたちの年齢に応じたプレゼントを配布した。

例年プレゼントのラッピングはボランティアとスタッフが集まり一緒に作業を行っていたが今年度は限られたスタッフのみで行うこととなった。それでも病院や制作のボランティアと連絡を取りながら成功させることができた。

2. 病気の子どもたちとその家族を支援するための事業

（事業費 60,096 円）

● 病児の兄弟姉妹の交流会「きょうだいの会」の開催

開催趣旨：重い病気を患うきょうだいをもつ子どもたちは、家族の配慮にもかかわらず、孤独感や不安を抱きやすいことが知られている。このような境遇にある子どもたちが大人のスタッフ・学生ボランティアと一緒にゲームをしたり、豊かな自然に触れたりすることで、ストレスを発散し孤独感や不安感を癒すことが出来る心の居場所となるような場を提供する。

概要： 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け2020年度の事業計画では秋頃から活動を再開し全3回の開催を予定していたが運営委員会で話し合った結果、集まっての活動はまだ難しい状況であるためそれに代わるオンラインの活動を検討することになった。

(1) オンラインきょうだいの会

概要： オンラインでの活動はこれまで開催がないのでニーズを把握するために企画に先立ちきょうだいの会メンバーの保護者向けのアンケート調査を実施した。オンラインでのきょうだいの会を開催した場合に『参加させたい』と答えた保護者は極少数であったが、中には「オンラインでもみんなに会いたい」という声もあったので希望する子ども（または保護者）と連絡を取り合い、通信方法や日時を調整し ZOOM で近況報告をし合ったり、集まっての活動が再開したらしたいことなど気軽におしゃべりをしたりして楽しんだ。このオンラインきょうだいの会は2回行い、各30分程度で開催した。ただ、開催当日に家族との用事が出来てしまい参加できない子どもや、小学生（親の携帯を使用）と高校生の希望する時間帯が合わないなどの問題点もあり参加者が少ないのが課題として挙げられる。

第1回オンラインきょうだいの会

開催日時：2021年1月30日（土）14：30

参加人数：子ども1名 ボランティア1名 スタッフ4名

第2回オンラインきょうだいの会

開催日時：2021年3月6日（土）14：30

参加人数：子ども1名 スタッフ3名

(2) カレンダープロジェクト

概要： いつものように集まることが難しい中、せめてみんなで一つの作品を作ろうという思いから『カレンダープロジェクト』を実施した。企画の案内に A4サイズの白地用紙と画用紙を数枚ずつ同封し、色鉛筆やペンなど家にある好きな画材を使い、テーマは自然、動物、食べ物など何でも OK で参加は自由とした。7名の子どもたちが思い思いに描いたキャラクター、季節の絵などを色鉛筆や水彩絵の具で上手に色塗りまでして送ってくれた。ボランティアとスタッフの絵も組み合わせ2021年4月始まりのカレンダーを作り、きょうだいの会メンバー全員に送付した。

●きょうだいの会OB・OG 交流会の開催

2020年度は実施できなかった。

●ボランティア感謝会の開催（中止）

開催趣旨： ワンダーポケットの役員やスタッフが、各活動に携わったボランティアや協力団体、病院関係者などを招待し感謝を伝えるとともに、活動報告や情報交換の場とする。

中止理由： 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により多くの活動に制限がありボランティアとの交流機会が激減したことに加え、会食会の開催は難しい状況であったため中止とした。

3. ボランティアを育成するための研修プログラムの提供事業 (事業費 0円)

●ボランティア・スキルアップ講習会の開催 (中止)

開催趣旨： 病院の小児病棟などで活動をしているボランティアの方々やこれから病院ボランティア活動を志す方々、保育士や学校教育に携わる方々など幅広く子どもに寄り添う人々を対象に、子どもを取り巻く社会環境の問題点を抽出し、共通理解を深める。ボランティアの質の向上、モチベーションの維持を目指し、活動意義や活動内容に伴う知識を習得する。また、ワンダーポケットの活動を一般の方たちに理解していただく場所として企画・開催し、ワンダーポケットの活動のための組織強化を図ると共に、ボランティア同士の情報交換の場とする。

中止理由： 開催について共催である宮城県立こども病院のボランティアコーディネーターさんと話し合ったが、例年会場としてお借りしている愛子ホールはこども病院の中にあり、この時期こども病院では感染症対策によりボランティアも原則入館禁止であることに加え、こども病院のボランティア以外の参加者は病院関係者が多く実際に集まる講習会への参加は難しい状況であった。オンラインでの講習会も検討したが、例年の参加者層をみるとオンライン対応が難しい方が多いとの助言を受け今年度の開催は見送った。

●ワンダーポケット「きょうだいの会」勉強会 (中止)

開催趣旨： きょうだいの会に参加する学生ボランティアを対象に「きょうだい」を取り巻く家庭環境の問題点を抽出し共通理解を深める。ボランティアの質の向上、モチベーションの維持を目指し、活動意義や活動内容に伴う知識を習得する。また、ワンダーポケット及びきょうだいの会の活動を学生たちに理解していただく場所として企画・開催し、ワンダーポケットの活動のための組織強化を図ると共に、ボランティア同士の情報交換の場とする。

中止理由： きょうだいの会開催に先立って行っている勉強会だが、開催の見通しが立たなかったため中止とした。

●ワンダーポケットの活動を通じたボランティアの育成・支援

活動事業： クリスマスイベント、きょうだいの会 (オンライン活動及びカレンダープロジェクト)

従事者数： 延約30名

概要： ワンダーポケットが主催したイベントの際には、宮城学院女子大学の学生はじめ一般のボランティア希望者へ、メール等で呼びかけを行い、ボランティア活動の場を提供した。また、スタッフを中心に足立智昭副理事長が講師を務めるオンライン講座『小児慢性疾患児と家族を支援するためのボランティア講座』を全3回受講し、小児慢性疾患児のご家族が直面する問題や悩み、現在のように家族のみで過ごす時間が増えまわりと分断されてしまう状況は大きなストレスになることやきょうだい支援に関わるお話を聞き理解を深めた。

4. この法人の活動に関する一般社会の理解をより深めるための広報、啓発事業

(事業費 9,019円)

●ホームページ、ブログ「ラッコのしっぽ」、フェイスブックの継続

ホームページやブログをイベント開催前や終了時を中心に随時更新するとともに、ワンダーポケットのフェイスブックも併用し、外部への情報公開や会員・支援団体への活動状況報告、ならびに各イベントやボランティア作業への参加呼びかけのツールとして活用した。

●ワンダーポケット通信の発行

発行回数：2回

発行部数：各150部

概要：ワンダーポケットの活動状況を、会員やこれまで様々な形で活動を支援してくださっている方々に知らせていくため、ワンダーポケット通信 Vol.37および Vol.38を発行した。Vol.37では2019年度後半の活動報告を行い、Vol.38は2020年度前半の活動を報告する内容となっている。

●法人紹介リーフレットおよびラッコハウス案内リーフレットを改訂

事務所移転に伴い法人紹介リーフレットの改訂を実施した。

●『ボランティア・スキルアップ講習会』の会場において書籍の展示・販売を行う

病気の子どもに関する書籍の展示・販売は、2020年度は実施しなかった。

5. その目的を達成するために必要な事業

(事業費 0円)

●『ワンダーポケット』の組織強化活動

(1) 新規会員募集活動の実施

ボランティア・スキルアップ講習会などの場がなかったため役員や運営委員から周囲へ会員募集の声かけを行ったが今年度の新規会員はなかった。

(2) 現在の会員数の状況

2021年3月末時点の全会員数は68名で、その内訳は一般会員53名、賛助会員15名(うち団体4)となっている。また会費の未納者は8名で未納額は31,000円である。

なお、2020年度は8名(うち死亡による退会1)が退会した。

●会議の開催

(1) 理事会の開催

①開催日時；2020年5月25日(月)

開催場所；仙台かき徳

議題；総会に付議すべき事項について

②開催日時；2020年5月31日(日)

開催場所；みやぎNPOプラザ 第一会議室

議題；理事長及び副理事長の選定について

(2) 総会の開催

開催日時；2020年5月31日(日)

開催場所；みやぎNPOプラザ 第一会議室

議題；2019年度事業報告及び決算報告
2020年度事業計画案及び予算案
役員の選任について

●事務局の運営等

(1) 事務局員(2名)

(2) 運営委員会の開催 計2回(オンライン会議)

(3) 実行委員会の開催 計3回（オンライン会議）

【その他の事業】

その他の事業（物品の販売事業及びチャリティー事業）は実施しなかった。